

# 改組・設置の概要について 1

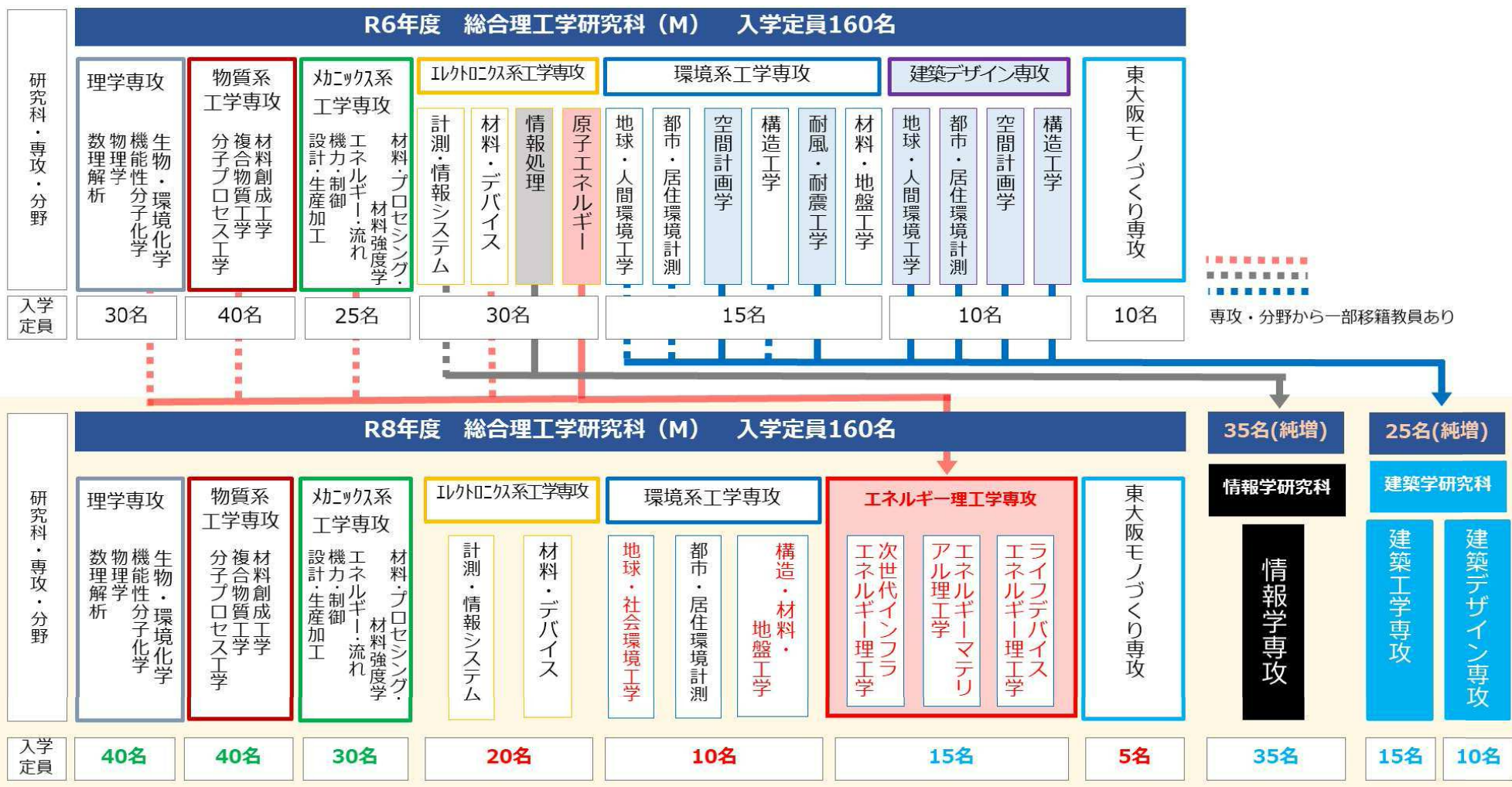
## 設置の背景

- ◎ 総合理工学研究科は現在 7 専攻を有する組織であり、総学生数500名以上と最も大きな研究科。定員超過の緩和のため、既設の専攻から独立して建築学研究科として設置予定。
- ◎ 令和4年度に創設された理工学部エネルギー物質学科並びに情報学部学生の学年進行に伴う進学先として、総合理工学研究科エネルギー理工学専攻並びに情報学研究科を設置予定。

## 改組の目的

- ◎ 研究力を向上させるため出願時の推薦基準点を上げ、入学者を絞り、定員の超過率を緩和させ、研究推進組織としての質の向上を図る。
- ◎ 研究力の向上により、博士後期課程の進学者を増加させ、さらに優れた研究成果を挙げる。
- ◎ 高度な研究者及び専門的職業人を多数養成し、本学の世界ランキング向上に寄与。
- ◎ 総合理工学研究科の博士前期課程（修士課程）大学院生数が定員を大幅に超過する状況となっており、学生・社会からの要望に柔軟かつ敏速に応える組織とするため、3研究科体制への移行を令和8年4月に予定している。

# 改組・設置の概要について2



# 専攻の新設（総合理工学研究科）

理工学部エネルギー物質学科在籍学生の進学先として、エネルギー理工学専攻を新設

- **名称**：総合理工学研究科 エネルギー理工学専攻  
(Graduate School of Science and Engineering Major in Energy Science and Engineering)
- **課程**：修士課程
- **開設**：令和8年4月開設予定
- **定員**：15名（収容定員30名）
- **学位**：修士（理工学）
- **学位の分野**：理学関係、工学関係
- **設置趣旨**：エネルギー3分野（次世代インフラエネルギー理工学・エネルギーマテリアル理工学・ライフデバイスエネルギー理工学）のいずれかの分野における広範な知識と専門性を備え、論理的思考力、倫理観、柔軟性、情報発信能力、コミュニケーション能力に裏打ちされた問題解決能力を有し、エネルギーに関わる基礎研究・技術開発・高等教育に寄与する人材を養成する。